

県内の遺跡・遺物26

村上城跡（平成5年国指定）

所在地：村上市大字本町ほか

村上市街の東に位置する村上城は、^{がきゅうさん}臥牛山の山頂から西麓の平地を取り入れ築城した平山城で、独立丘全体に城跡の遺構があります。山麓には城主居館・空堀・家臣の屋敷跡などが残り、三重の塁濠などが市街地に広がっていました。城の起源は「村上要害」と呼ばれる中世山城で、本庄氏の拠点として機能していました。

慶長3年（1598）堀秀治^{ほりひではる}の越後入府に伴ない、与力大名の村上頼勝^{むらかみよりかつ}が「村上要害」を基礎に築城し、新たに侍町の建設と城下町の拡張整備を行いました。その後村上氏が除封となり、長岡から堀直斎^{ほりなおより}が入封し、本丸・二の丸・三の丸の整備、侍屋敷の移転、石垣・櫓^{くわ}を築くなど、城と城下町を総合した大きな整備が行われ、近世城郭として完成しました。その後も整備は何度か行われましたが、この時が一番大きな整備でした。後の戊辰戦争^{ぼしん}で城の大半が焼失し、今では本城諸郭・天守閣・櫓・門の跡と石垣が残り、わずかですが当時をしのぶ面影が感じられます。



村上城跡（1999年9月3日撮影）



天守閣跡から市街地を望む

埋文にいがた No.28

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
〒956-0845 新潟市金津93番地1
TEL (0250)25-3981
FAX (0250)25-3986
e-mail : maibun@coral.ocn.ne.jp

印刷 有限会社 双葉印刷